

木と私たち

第8回講座 木工製作

日時 平成26年11月8日(日) 10:00~15:00

場 所： 鶴瀬公民館 いきいき活動室
参 加 者： 8名

今回は「かわぜみ」などをテーマに製作する予定でしたが、施設に配備することを考え、施設からの要望に合わせて大きな作品を作ることにしました。

材料の形を生かし、グループに別れそれぞれ製作に取り組みました。大きな桜材を切断するため、電動チェーンソーを使い切断、大まかな切り込みなどの行い、ノコ、ノミを利用して各パーツを製作しました。場所によっては長尺の木ねじでの固定をし、胴体、頭は桜の大枝を利用し、動物の足はケヤキの枝を使いました。



☆作品は鹿、犬(ダックス)、トド、キリンの動物と三輪車にのる子供の5作品

鹿は最高の作品、難しい足の取り付けも、チェーンソーを巧みに操り、首も嵌め込み手早く作る受講者にいつもながら感心しました。



あるグループの「トド」は子供が乗れる「馬」を作ろうとして取り掛かりましたが、大きな枝の重さに耐える足の取り付けが難しく、頭を作って取り付けようとしていたが、前重心になった為、行き詰まり状態に！ 前足を付けた状態で、誰かが“トド”と言ったので、安易にトドに変更。これなら

子供が乗っても危なくないからとの言い訳をしていました。

キリンは女性受講者の作品で長い首、長い足と表情で、一人で奮闘したダックスの犬も胴体の長さや短い足、双方共に特徴を捉えた良い作品になりました。

まだ、材料が生木の状態なので、後日乾燥してから調整作業が必要になります。その際には切断面の処理としてニスなどの塗装を考える必要があります。

「かわせみ」は講座の特別宿題として検討し、受講者がそれぞれ製作できるレベルの材料を用意して各自製作してもらう予定です。